

# 大分県竹田市

住所	〒878-8555 大分県竹田市大字会々1650
市長	土居 昌弘
HP	<a href="https://www.city.taketa.oita.jp/">https://www.city.taketa.oita.jp/</a>
バイオマス産業都市選定年度	2019年度
バイオマス産業都市構想	<a href="https://www.city.taketa.oita.jp/material/files/group/3/bio2020.pdf">https://www.city.taketa.oita.jp/material/files/group/3/bio2020.pdf</a>
担当部署	環境課
連絡先 TEL	0974-63-4821
連絡先 FAX	0974-63-9582

## 竹田市バイオマス産業都市構想案（将来像）

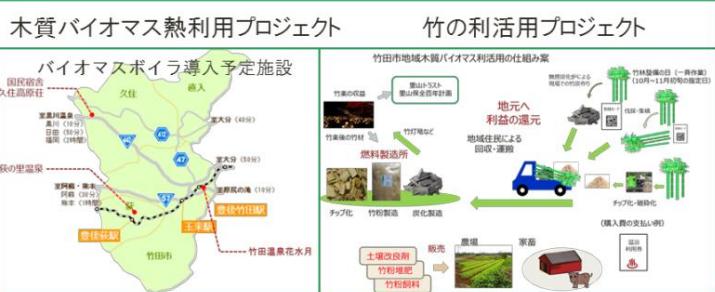
- ・バイオマスや竹資源による環境保全や地域活性化と産業振興
- ・自立・分散型エネルギー・システムによる災害に強い町づくり
- ・地球温暖化防止と循環型社会の構築



## 木質バイオマス燃料製造プロジェクト



## 木質バイオマス熱利用プロジェクト



## 竹の利活用プロジェクト



## プロジェクト一覧

項目	名称	現状
プロジェクト 1	木質バイオマス燃料製造プロジェクト	検討中
プロジェクト 2	木質バイオマス熱利用プロジェクト	検討中
プロジェクト 3	竹の利活用プロジェクト	検討中

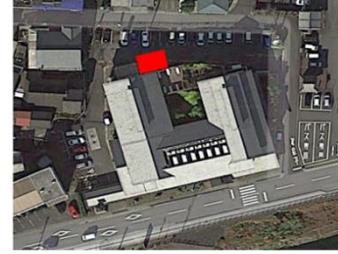
### Q I -2. 事業化プロジェクトの概要

#### プロジェクト 1 : 木質バイオマス燃料製造プロジェクト（計画）

プロジェクト概要	
事業概要	木質バイオマス材を活用した燃料製造や加工を行う。
事業主体	市内の民間事業者を予定
計画区域	市内
原料調達計画	市有林や市内の民有林資源、市民の協力による市内の竹林資源
施設整備計画	①バイオマス材供給の仕組みづくり ②民間によるチップ製造事業の立ち上げ ③バイオマス材を利用した加工製品製造事業の立ち上げ
製品・エネルギー利用計画	市内の木質ボイラー導入に合わせチップ製造、加工品需要に合わせバイオマス加工品製造 ①原材料別の加工の仕組み構築) ②チップ、その他製造設備の導入検討と導入
効果	・小規模熱利用から木質バイオマス燃料供給可能 ・木質バイオマス燃料製造設備・加工設事業における雇用創出



## プロジェクト2：木質バイオマス熱利用プロジェクト

プロジェクト概要		
事業概要	木質バイオマス熱利用プロジェクト	
事業主体	竹田市、民間事業者	
計画区域	市内	
原料調達計画	市有林や市内の民有林資源	
施設整備計画	①荻の里温泉（温泉加温、給湯用木質バイオマスボイラーの入替） ②国民宿舎久住高原荘（温泉加温、給湯、空調用木質バイオマスボイラーの設置） ③竹田温泉花水月（温泉加温、給湯用木質バイオマスボイラーの設置）	
製品・エネルギー利用計画	公共施設における熱エネルギーの利用	
効果と課題		
効果	・燃料費の削減 ・木質バイオマス利用による CO <sub>2</sub> 削減	
課題	・適切なボイラーの導入 ・竹田温泉花水月の導入条件にあう設備の選定	
事業イメージ		
各施設の適した木質ボイラー等の熱供給設備を順次導入する。		
荻の里温泉 	国民宿舎久住高原荘 	竹田温泉花水月 
		
赤い部分がボイラー等の設置場所の候補		

### プロジェクト3：木質バイオマス熱電併給プロジェクト

プロジェクト概要	
事業概要	木質バイオマス熱電併給プロジェクト
事業主体	竹田市、民間
計画区域	市内 避難所指定施設等
原料調達計画	市有林や市内の民有林資源等
施設整備計画	木質バイオマス熱電併給設備（ガス化発電設備）の導入
製品・エネルギー利用計画	公共施設や民間施設における木質バイオマス電気・熱エネルギーの利用
効果と課題	
効果	・エネルギーの自給自足の実現、CO <sub>2</sub> 削減
課題	・ガス化発電設備の経済性と安定稼働
イメージ図	

## II 脱炭素化の取組

### QII-1. 地域における脱炭素に関する計画

計画名称等	策定年度
地方公共団体実行計画 (区域施策編)	第3次竹田市地球温暖化対策実行計画(事務事業編) 2024年度 <a href="https://www.city.taketa.oita.jp/soshiki/kankyou/ka/kannkyou/5806.html">https://www.city.taketa.oita.jp/soshiki/kankyou/ka/kannkyou/5806.html</a>

**大分県竹田市 ちくらく たけた竹灯籠『竹楽』と里山保全プロジェクト**

**背景**

- 竹はしなやかで強く、暮らしに欠かせない植物として有用とされてきた。
- しかし、プラスチックなどの代替材が台頭して安価な輸入品が増加すると、搬出量が減り、過疎化・高齢化に伴い放置され、荒廃した里山が増加。

「子どもたちに竹田の美しい里山をのこしたい！」  
という地域の思いから、伐竹とその竹を活かす取り組みがスタート

**目的**

里山保全　観光振興　地域資源活用

『竹楽』のイベント開催を通じた竹林の荒廃改善及び里山文化の再生と、竹の素材を活用した産業・文化の連携による「竹田らしい」・「竹田ならでは」の地域活力の創造と推進を図る。

**これまでの取り組み**

- 2000年 3,000本の竹灯籠を城下町武家屋敷通りに設置
- 2001年 竹灯籠を12,000本に増やし、名称も「たけた竹灯籠 竹楽」として単独開催
- 2002年 以降、毎年20,000本をベースに開催実施
- 2014年 竹工芸作家の誘致を開始
- 2021年 CNF製造を手掛ける大学発ベンチャーとの立地協定を締結

竹の景色は多くのひとの心に  
“竹田の思い出の景色”として刻まれています。

**大分県竹田市 ちくらく たけた竹灯籠『竹楽』と里山保全プロジェクト**

**事業内容と得られる成果**

**NPO法人を中心とした伐竹・搬出**

里山保全・荒廃対策  
市民協働

← 保管場所には  
廃校となった中学校  
の体育館を活用

**竹灯籠『竹楽』へ**

風情豊かな竹田の城下町に約2万本の竹  
灯籠が並び、幻想的な世界が広がります。  
3日間で10万人以上の誘客見込み。

▶ 観光振興・シビックプライドの醸成

**竹工芸・竹製品へ**

▶ 芸術文化の振興・産業活性化・廃校活用

**新素材（CNF等）へ**

▶ 産業イノベーション・脱炭素・企業進出・産学官連携

2022年は  
3年ぶりの  
通常開催！！

竹の素材化技術を持つ  
企業・工場の説明会

**企業の皆様へ**

△求めるもの　**企業版ふるさと納税を通した応援**、伐竹・搬出技術や竹活用技術に係る支援・協働

△企業様のメリット　竹田市特設Webサイト及び市報でのご紹介、環境保全事業への参画・貢献のPR

**お問い合わせ**

竹田市総合政策課 まちづくり推進係 Tel : 0974-63-4801 / Mail : kikaku(a)city.taketa.lg.jp

### 竹灯籠「竹楽」里山保全プロジェクト

<https://www.chisou.go.jp/tiiki/tiikisaisei/portal/pdf/dai25/211takedashi.pdf>